



2019年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年2月13日

上場会社名 株式会社ピーバンドットコム
 コード番号 3559 URL <https://www.p-ban.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 田坂 正樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 上田 直也

TEL 03-3265-0343

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第3四半期の業績(2018年4月1日～2018年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,482	0.6	210	1.9	213	1.4	159	2.7
2018年3月期第3四半期	1,473	11.2	206	26.4	210	27.6	155	43.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第3四半期	72.38	64.74
2018年3月期第3四半期	70.86	62.97

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第3四半期	1,244	950	76.3
2018年3月期	1,142	797	69.7

(参考)自己資本 2019年3月期第3四半期 950百万円 2018年3月期 796百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		10.00	10.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)					

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末日における配当予想額は未定であります。

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,102	5.4	295	3.1	298	2.6	224	1.3	102.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期3Q	2,236,307 株	2018年3月期	2,190,000 株
------------	-------------	----------	-------------

期末自己株式数

2019年3月期3Q	株	2018年3月期	株
------------	---	----------	---

期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期3Q	2,201,724 株	2018年3月期3Q	2,190,000 株
------------	-------------	------------	-------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第3四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(2018年4月1日～2018年12月31日)における国内の電子工業は、パソコン・スマートフォン市場が減速する中、IoT(インターネットオブシングス)関連機器、EV・自動運転の需要増を背景に車載用電子部品といった新たな分野の成長が下支えとなり、電子部品の生産は堅調に推移しております。一方、米中貿易摩擦等を背景とした海外需要の鈍化の影響もみられます。そうした環境の中、当社の取扱う電子回路基板の国内生産額は前年並で推移しました。

このような状況のもと、当社はオンラインでの「インターネット広告(リスティング広告)」を主軸に、自社開発のAI解析によるマーケティングオートメーションを駆使した販促活動を展開しました。またオフラインでは、電気電子業界の展示会への出展や、常設セミナールームでのサービス導入セミナー、電子回路エンジニア向けの設計CAD講習会の開催などを通じて、顧客と直接的なコンタクトの機会を増やすことで、新規会員登録(リード顧客)の獲得活動を積極的に展開いたしました。これらの施策を実施したことにより、当第3四半期累計期間は新規会員3,086名の登録(リード顧客)(※1)を獲得し、当第3四半期会計期間末の会員登録数は51,779名となりました。

生産活動においては、協力工場の新規開拓や、既存協力工場との連携強化による品質力向上に継続して取り組みました。納期遵守率每期99%超えを維持し続けている厳格な納期管理と高品質なプリント基板の提供により、海外廉価版サイトなど競合先とのサービス差別化を図っております。さらに当四半期では、車載用など広く用いられている、基板と周辺機器を繋ぐためのハーネスの受発注を1-Click見積Webサービスに加えるなど、より付加価値の高いサービスの提供にも努めてまいりました。また、ウェアラブル機器などに使用されるフレキシブル基板や、製品極小化に伴う基板の多層化など今後の需要拡大を見込み、アイテムの拡充と業務の効率化を検討してまいりました。

当社の主力事業である基板製造サービスからの水平展開が進み、プリント基板製造の後工程にあたる部品実装サービスの利用が増加し、ワンストップ・ソリューション(※2)の利用が拡大しました。また、既存産業に加え、新規成長分野において、情報をセンサーで捉えて解析し、「見える化」するIoT関連の量産受注が堅調に推移しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,482,037千円(前年同期比0.6%増)、売上総利益は525,974千円(前年同期比5.0%増)、営業利益210,594千円(前年同期比1.9%増)、経常利益は213,078千円(前年同期比1.4%増)、四半期純利益は159,362千円(前年同期比2.7%増)となりました。

なお、当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

※1. 新規会員登録(リード顧客)：当社サービスの無料の会員登録をすると、メールマガジンの購読や、設計CADのダウンロードが無料で行えます。登録することで、当社は顧客リストを獲得でき、注文に向けた営業アプローチが可能となります。

※2. ワンストップ・ソリューション：必要になる作業を一度の手続きで全て完了することが出来るサービスを意味します。当社のサービスは、プリント基板の設計、製造、部品実装までウェブ上で簡単に一括で注文手続きを行うことができます。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産の部)

当第3四半期会計期間末における総資産は1,244,580千円となり、前事業年度末と比較して102,329千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金125,706千円、受取手形3,242千円が増加した一方、売掛金36,856千円が減少したこと等によります。

(負債の部)

当第3四半期会計期間末における負債合計は294,080千円となり、前事業年度末と比較して51,144千円の減少となりました。これは主に、未払費用11,230千円、賞与引当金12,055千円が増加した一方、未払金19,178千円、買掛金6,087千円、未払法人税等44,932千円が減少したこと等によります。

(純資産の部)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は950,499千円となり、前事業年度末と比較して153,473千円増加となりました。これは、四半期純利益159,362千円、配当金の支払い21,900千円により利益剰余金が137,462千円、特定譲渡制限付株式の発行により資本金が4,498千円、資本準備金が4,498千円、新株予約権の権利行使により資本金が3,507千円、資本準備金が3,507千円増加したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2018年5月10日の決算短信で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	790,914	916,621
受取手形	-	3,242
電子記録債権	1,059	943
売掛金	258,990	222,134
商品	16,996	17,894
その他	2,510	10,595
貸倒引当金	△4,743	△1,027
流動資産合計	1,065,729	1,170,404
固定資産		
有形固定資産	4,047	3,451
無形固定資産	30,007	28,957
投資その他の資産		
その他	42,613	41,913
貸倒引当金	△147	△147
投資その他の資産合計	42,466	41,766
固定資産合計	76,521	74,175
資産合計	1,142,251	1,244,580
負債の部		
流動負債		
買掛金	206,858	200,770
未払法人税等	64,634	19,701
賞与引当金	1,484	13,539
その他	62,875	49,578
流動負債合計	335,853	283,590
固定負債		
退職給付引当金	9,372	10,490
固定負債合計	9,372	10,490
負債合計	345,225	294,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	147,850	155,855
資本剰余金	113,850	121,855
利益剰余金	534,925	672,388
株主資本合計	796,625	950,099
新株予約権	400	400
純資産合計	797,025	950,499
負債純資産合計	1,142,251	1,244,580

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年4月1日 至2017年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)
売上高	1,473,124	1,482,037
売上原価	972,356	956,063
売上総利益	500,768	525,974
販売費及び一般管理費	294,143	315,380
営業利益	206,625	210,594
営業外収益		
協賛金収入	3,300	2,900
受取利息	2	3
その他	767	554
営業外収益合計	4,069	3,458
営業外費用		
為替差損	617	818
その他	10	155
営業外費用合計	628	973
経常利益	210,067	213,078
特別利益		
保険解約益	9,505	17,430
特別利益合計	9,505	17,430
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税引前四半期純利益	219,572	230,508
法人税、住民税及び事業税	62,881	66,320
法人税等調整額	1,517	4,825
法人税等合計	64,399	71,145
四半期純利益	155,172	159,362

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。